

那霸市長 宛

令和 8 年 9 月 18 日

団体名 ステラヘルスジャパン

代表者 長嶺ふじ子

担当者

「なは市民活動支援事業」

中間報告書

令和8年6月11日付け、那覇市指令市ま第1152号で交付決定の通知を受けた当該事業について、現時点での進捗を下記のとおり報告します。また、市ホームページへの掲載を承認し、中間報告会で他団体とも内容を共有します。

1.事業名	那覇市の働き盛り世代健康課題解決プロジェクト	
2.実施内容	《7月：外部連携先業務会議及び事業所公募開始》 7月1日 協会けんぽ沖縄支部打ち合わせ：採択事業所への支援内容について 7月8日 那覇商工会議所打ち合わせ：会員事業所への告知について：商工会議所HP掲載済 連携先社労士打ち合わせ：実施事業内容共有と今後の進行について 7月15日 健診受診パーフェクトプラン公募開始 7月23日 那覇市医師会との業務連携打ち合わせ：採択事業所への支援内容及び地産保連携について 7月27日 中小企業同友会連携打ち合わせ：会員事業所への告知について：会員への告知実施7月～8月 《8月：事業所公募及び事業説明会実施》 8月12日 17日 20日 24日 31日 9月15日 説明会 8月20日 那覇市内事業所 申し込み1件 9月15日 採択事業所決定	
3.事業を一言で表現すると	(例：生活困窮世帯に食糧を配布することで、対象者が安定して食事が取れるように支援する。) 健診・受診の仕組みづくりと従業員研修を提供 _____ することで _____働き盛り世代の持続性のある健康課題解決策を企業内に構築 _____ する。	
4.これまでの活動の振り返り	【良かった点】 ・地域の関係機関（協会けんぽ、地域産業保健センター等）の役割や、沖縄県における健康課題とその対策が労働損失の抑制につながることにについて、説明会を通じて事業主に理解を深めていただく機会となった。 説明会を通じて、小規模事業所における産業保健や健康経営に対する関心の程度、活用可能な予算等について、現場の実態を把握するマーケティングリサーチの機会となった。 今年度は、人件費の高騰や労働力不足、中東情勢の悪化等、さまざまな外的要因の影響を受けている事業所の現状や、健康づくりに十分な人的・財政的資源を充てることが難しい現場の実情について、事業主から直接声を聞き、把握することができた。	【改善点・今後につなげる点】 優良法人認定を取得している大企業等と比較すると、小規模事業所では、従業員の健康づくりに取り組みたいという意向があっても、予算や人員等の制約から、十分な取組を実施することが難しい実情が明らかとなった。 また、既存の公的支援については、単発的な健康講座や情報提供にとどまるケースも多く、従業員一人ひとりの継続的な健康行動の変容や、事業所内における健康づくりの仕組みの定着につながりにくことが課題として挙げられる。 今後は、今回の事業を通じて把握した小規模事業所の実情やニーズを那覇市健康増進課と共有し、健診・受診後のフォローアップから、従業員研修、健康行動の実践・定着までを一体的に支援できる仕組みづくりを検討していきたい。 単発的な支援で終わらせるのではなく、小規模事業所が無理なく継続できる健康づくりの仕組みについて、協働先である健康増進課と課題や方向性を共有しながら検討を進め、働き盛り世代の健康維持・増進と、企業における持続的な健康経営の実現につなげていきたい。

5.今後の活動予定 (事業期間内又はすでに終了した団体については次の予定)	(何をいつ実施するか、対象者や実施場所、など) 10月1日 採択事業所 初回ヒアリング (場所：普天間洋服店) ・既存の就業規則の診断と適正化指導 ・健診受診及び研修年間スケジュール作成 10月以降 ・健診受診後追いシステム構築 ・管理職向け研修実施 ・従業員向け研修実施 ・定期健診実施 ・健診後追い実施 (協力：協会けんぽ、地産保) ・取り組みに関する広報 (協力：協会けんぽ、なは市民活動支援センター) ・年間データ算出 (定期健診受診率、有所見率、後追い実施率)
6.活動写真 (簡単な説明文を記入)	(対面説明会実施の様子) (関係各所への説明実施の様子)
7.今回の達成目標 (当初の事業計画書に記載した目標)	モデル事業の構築 (モデル企業において健診受診の仕組みが確立する、モデル企業の健診受診率が向上する)
8.現時点の目標達成度 (例：60%達成)	50%